



東京情報大学入学式における 学長式辞

東京情報大学

学 長 牛久保 明 邦

平成24年度第25回東京情報大学の入学式にあたり、千葉市長 熊谷俊人様、学校法人東京農業大学 大澤貫寿理事長をはじめご来賓の皆様には大変お忙しい中、ご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。お蔭様でこの様に盛大な式典が挙行できますことに、感謝申し上げます。

本日、只今入学を許可された総合情報学部情報システム学科164名、環境情報学科152名、情報ビジネス学科97名、情報文化学科73名計486名、大学院総合情報学研究科博士前期課程13名、博士後期課程1名総計500名の皆様、入学おめでとうございます。

また、お子様が厳しい入学試験を突破され、栄えある東京情報大学への入学を心待ちにされていたご両親ご家族の皆様にはあらためて心から御慶び申し上げます。

本日入学を許可された皆さんは、自らの明確な意思で、数ある大学の中から東京情報大学への進学を決意されました。本学の教職員を代表して心から歓迎いたします。この意思こそが今日からの大学生活において最も大事なことです。初心を貫徹するために、まず本学での第一歩となる入学式において、自ら学び自らが成長しようという意思を、ぜひご両親ご家族並びに先生方に言葉で表してみてください。

私達は、皆さん一人ひとりが持っている素晴らしい素質や能力を大きく伸ばすとともに、培った学力と技術に裏打ちされた人格者を育成し、これからの情報化社会を支えるリーダーとして活躍するために必要な基礎作りに向けて、皆さんと共に全力で教育と研究を進めて参ります。そして、4年後には、素晴らしい大学で学び、尊敬できる恩師に出会え、生涯にわたる良き友人をたくさん得ることができたという実感を持って、全ての学生が揃って卒業してくれることを心から願っております。

ここで、本学の学生として東京情報大学に関する歴史や教育理念などを知っておいて頂きたいと思います。本学の経営母体は学校法人東京農業大学であります。その中核となる東京農業大学は、明治の英傑榎本武揚先生を創始者として121年前に創設され、我が国有数の農学系総合大学として現在に至っております。榎本武揚は、近代の創成期にあって世界に目を向け、わが国の未来を展望し、生まれて間もない近代国家としての日本の基礎作りと発展のために尽したばかりでなく、国際人として人類の平和と福祉のために、幾多の困難を乗り越えて多くの業績を残された人物です。その榎本の精神を礎に本学は、学校法人東京農業大学の8つ目の学校として1988年に設立され、本年で創立25年を迎えます。本学は、「情報」を大学名に冠した我が国で最初の私立大学であり、「未来を切り拓く」を建学の精神として、フロンティア精神にあふれた情報学の先端研究と実践教育を

行っています。教育理念は、「現代実学主義」です。これは、榎本武揚が唱えた「実学」の精神を継承したもので、身をもって学び、社会の発展に寄与する人物を育成するための理念をあらわしています。さらに、大学を人間形成の場として捉え、学生一人ひとりの個性を重んじて、感性豊かに創造性を育むことができるよう「自立と協調」を学生指導の理念としています。これらは、本学で学ぶ上で常に念頭において過ごしてほしいものです。

さて、今日から大学での学生生活が始まります。皆さんの高校までの教育は、学問の基礎やルール等の知識を修得することを目的として、教科書中心の覚えることに重点を置いた「学習」でした。大学では、それらの知識や経験を活用して、実践しながら試行錯誤をすることが求められます。そして、学生を「一人の独立した人格者」として扱い、個人を尊重し、自らの能力で、自らを完成させることに重点を置きます。このように、大学と高校では、教育の手法、手段が全く違っており、大学は、理系から文系にわたる広範な知識や実社会における事例、先人達の知恵を応用して答えを見つけていく、いわゆる「学問」をする場となります。情報学のエキスパートである優れた先生方とともに、日々進歩発展を遂げている情報学の知識や技術を身に付け、様々なテーマに積極的にチャレンジして欲しいと思います。

まず、まだ白紙の設計用紙に自分の人生設計を描き、将来の土台を築くためのスタートに際して、大学において「自分は何をなすべきか」、「自分は何を目指すのか」という目標を定めて下さい。そして、自分なりの設計図をこの4年間で完成させて下さい。そのためには、時間に余裕を持って、自分自身の幅を広げることが大切です。教室での座学中心の勉強ばかりではなく、実習や研究室活動への積極的な参加、さらには「健全な肉体に健全な精神が宿る」というが如く、スポーツ等の課外活動を通じた心身の鍛錬や信頼のできる友人関係の構築など、文武が車の両輪のごとくうまく機能することが重要になります。今後皆さんが、理想に向かって一段と高い目標を掲げ、悔いの残らないよう大学生活を送られることを願っています。

昨年3月11日には日本観測史上最大級の東日本大震災が発生しました。この大震災では、地震や津波の被害に加えて原子力発電所事故が発生し、被災地の復興は、大変厳しい状況にあります。改めて、震災で亡くなられた皆様へ哀悼の意を表し、被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この大震災において勉学的意思を持ちながら、その夢を叶えられなかった同年代の若者がいることを忘れないで下さい。皆さんには、この人々の無念さを常に忘れずに、勉学できる喜びを感謝しながら学んでほしいと切望します。

最後に、皆さんの中には、今までと違った生活環境の中で大学生活を始められる方も多いと思います。一日も早くけじめのある規則正しい自分の生活パターンを確立されるとともに、健康には十分に留意され大学生活をエンジョイして頂きたいと思います。

本日のこの意義ある入学式にあたり、新入生の皆さんの新たなる決意と目的意識をもった東京情報大学での学園生活を期待し、式辞といたします。

平成24年4月5日